

いいですか。

つくって

ヒトの「生命」



2006年に京都大学・山中伸弥教授が作りだしたiPS細胞は、わたしたちの体を構成するあらゆる細胞へと変化する能力を持っています。この能力を利用して病気の治療に役立てよう、という研究があります。一方、あらゆる細胞を作り出せるのであれば、人間の体ができるまでを再現する「モデル」ができるかもしれません。今回は、普段聞くことのできない第一線の研究についてのお話のあとに、皆さんと一緒に研究のありかたを考えてみたいと思います。ぜひ皆さんの考えを聞かせてください。

開催日時 2022年 9:00 - 10:00
11月23日 (水・祝)
9:00 - 12:00

開催方法 オンライン (zoom)

対象 生命科学に興味のある中・高校生
第1部 - 中・高校生
第2部 - 高校生 (高校生相当の知識を有する中学生可)

URL・QR 参加申し込みはこちらから
ご確認ください
<https://www.jsrm.jp/nc/ppi/report/>



10:00 - 10:15

10:15 - 12:00

第1部 講演 定員制限なし

体のモデルをつくるとは？
オルガノイド研究について

— 講師 八代 嘉美 (一般社団法人日本再生医療学会)

ヒト受精卵のモデルをつくる
ブラストイド研究最前線

— 講師 柳田 絢加 (東京大学大学院 農学生命科学研究科)

休憩

第2部 ワークショップ 定員24名程 (多数申込時は抽選)

※「受講証明書」を発行いたします。